

音楽の友

きみ
君しゅざいの取材が
きじ
記事になる

へんしゅうしゃ

オントモ・キッズ編集者2024

しごと
お仕事スタートBOOK



かいさいにちじ
●開催日時

1日目：8月6日（火）14時～16時

2日目：8月9日（金）16時～18時

しゅうこうばしょ
●集合場所

おおがきしょてん あさぶだい
大垣書店（麻布台ヒルズ タワープラザ4階）



さいしんごう
最新号は8月号！

本屋さんで探してみてください

音楽の友^{ONGAKU NO TOMO} Presents

オントモ・キッズ^{へんしゅうしゃ}編集者^{きみ}になる君へ!

ざっし^{へんしゅうしゃ}雑誌の編集者ってどんなお仕事をしているの?

「雑誌の編集者」とは、多くの場合、出版社に勤務して雑誌を編集する人のことを言います。かんたんに言うと「雑誌をつくる人」です。

雑誌をつくるためには、文章^{ぶんしょう}を書くライターや写真^しを撮るカメラマン、デザイナー、雑誌の細かい部分までなおす職人^{しよくにん}さん、印刷所^{いんさつじょ}の人など、たくさん^{ひつよう}の人の力が必要です。編集者はそのあいだに入り、連絡^{れんらく}を取り合います。

雑誌のつくりかた^{いちれい}の一例として、おおまかな流れをみてみましょう。

- ①企画^{きかく}を考える。会議^{かいぎ}でアイデアを発表する。
- ②ライター、カメラマンに連絡^{れんらく}。予定を確認^{かくにん}していっしょに取材^{しゆざい}に行く。
- ③届いた原稿^{げんこう}に、記事のタイトルや見出し^{みだし}をつける。校正^{こうせい}をする。
- ④写真をえらぶ。
- ⑤記事のデザインをデザイナーと相談^{さうだん}して、記事のかたちにしていく。
- ⑥出来上がったグラ刷り^{すり}を校正^{かくにん}&確認^{かくにん}、校了^{こうりょう}。

✍ わからない単語は4ページ「編集者おたすけ単語帳^{たんごちょう}」をチェックしよう

しゅっぱんしゃ そもそも出版社とは?

本をつくっている会社を「出版社^{しゅっぱんしゃ}」といいます。

いまは紙の本だけではなく“デジタル版^{ばん}の本”

の販売^{はんばい}や、出版社の強みをいかしたウェブサイト^{うんえい}を運営するところもあります。出版社^{しゅっぱんしゃ}のなかには「編集部^{へんしゅうぶ}」と呼ばれる部署^{ぶしょ}（グループ）があり、そこで雑誌の編集者^{へんしゅうしゃ}たちは働いています。

おんがくのともしゃ 音楽之友社^{おんがくのともしゃ}でつくっている雑誌や本、楽譜^{がくふ}たち

出版社^{しゅっぱんしゃ}である「音楽之友社^{おんがくのともしゃ}」では、クラシック音楽にまつわる雑誌、本、楽譜^{がくふ}を、毎年100点以上つくっています。



おんがくのともしゃ かくらさか
音楽之友社は神楽坂にあるよ



2日目のインタビュー取材で会うアーティスト

ヴァイオリニスト

ひろつる 廣津留すみれさん



© Ryuto Kurokawa

😊 **オントモ・キッズ編集者**では、クラシック音楽雑誌の編集者として、インタビューをしてみよう！

おおいたけんしゅっしん こうこうせい
大分県出身。高校生のときにアメリカのニューヨーク カーネギーホールでソ

ロ・デビュー。ハーバード大学(学士)卒業、ジュリアード音楽院(修士)修了。

せかいてき ゆうめい きょうえん へ て えんそう
世界的に有名なチェリストのヨーヨー・マとの共演を経て、アメリカにて演奏

かつどう
活動を拡大。オーケストラ「The Knights」のメンバーとしてグラミー賞2022

にノミネート。日本でも東京フィルハーモニー交響楽団や関西フィルハーモニ

かんげんがくだん ばんぐみ てつこ へ や だいいい おんがくかい
一管弦楽団などとの共演やテレビ番組『徹子の部屋』『題名のない音楽会』などに

しゅつえん こくさいきょうようだいがくとくにんじゅんきょうじゅ せいけいだいがくきやくいんじゅんきょうじゅ はとりしんいち
出演。国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授。『羽鳥慎一モーニン

グショー』金曜レギュラー。

これで
お仕事もバッチリ！

編集者おたすけ単語帳 たんごちょう

げんこう
✂️ **原稿**・・・本などをつくる時、そのもととなる文章や写真。

へんしゅう しりょう げんこう ざいりょう ほん
✂️ **編集**・・・資料や原稿など、いろいろな材料をもとにして、本や

ざっし しんぶん ばんぐみ ユーチューブどうが
雑誌、新聞、テレビ番組、YouTube動画などをつくりあげること。

☆伝えたい内容を、いかに魅力的なことばで表現できるか、ステキな写真や
デザインで構成できるかが、雑誌編集者の腕の見せどころ！

みだ
✂️ **見出し**・・・記事全体の内容がパッと見てわかるように、文章の前
につけることば。

こうせい
✂️ **校正**・・・文字の間違いをなおすこと。

✂️ **赤入れ**・・・校正のとき、間違いなどを赤ペンで書きこむこと。

す
✂️ **ゲラ刷り**・・・「ゲラ」と呼びます。校正をするために、誌面の

試し刷り(コピー)をした用紙のこと。簡単にいうと、記事の確認や校正
をするための用紙。

✂️ **トルツメ**・・・間違っている部分を、「取って(消す) + 詰める」の
意味。

☆たとえば、「イン-タヴュー」を正しい「インタビュー」となおしたいとき、まんなか
の「-」をマルでかこみ、そのうえに「トルツメ」と書くよ。

こうりょう
✂️ **校了**・・・校正などのチェックが終わり、印刷できる状態になること。

みほん 見本

正しい

ざっし おんがく とも 雑誌『音楽の友』は、いまから約80年前

の1941年に生まれました。クラシック

おんがく せんもん 音楽を専門とする雑誌として、日本でもっ

とも古く、長い歴史を持っています。

アーティストへのインタビュー記事や公演

レポート記事など、毎月多くの内容が載

っています。

間違い

ざっし おんがく とも 雑誌『音楽の友』は、いまから約10年前

の2941年に生まれました。クラシック

おんがく せんもん 音楽を専門とする雑誌として、世界でもっ

とも新しく、細い歴史を持っています。ア

ーティストへのインタビュー記事や公演

レポート記事など、毎月多くの内容が載

っています。

8

日本

古く 長

ツイート

ほかの人にも
わかりやすいように
ていねいに書こう



なおしたところ

- 10 → 80
- 2941年 → 1941年
- 世界 → 日本
- 新しく → 古く
- 細い → 長い
- インタビュー → インタビュー